



造形実技

(120分)

環境科学部

環境建築デザイン学科

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
2. 問題は1題のみで1ページです。
3. 提出はデッサンボード1枚です。縦・横いずれの向きに用いてもかまいません。
4. 下書き用紙(A3用紙・2枚)は自由に使ってよい。
5. 受験番号と氏名は、デッサンボード裏面の記入欄に書きなさい。裏面には解答を描かないこと。
6. 描画には黒鉛筆・消しゴムのみ使用すること。定規・コンパスなどを使用してはいけません。ただし、羽根ぼうきまたは製図用ブラシは使用できます。鉛筆削り、カッターは使用できます。
7. 試験終了後、下書き用紙と紙片、問題冊子は持ち帰ってください。

問題

以下の手順に従って空間を構成し，デッサンボードに描け。文中にある紙片とは机上に配布された5枚の紙を指し，紙片1枚あたりの大きさはおよそ15 cm × 21 cmである。手順に書かれていないことについては，自由に構想してよい。

<手順1・検討>

紙片1枚を折り曲げるなどして，造形物として自立させよ。紙片に切り込みを入れるのは可とするが，切り離してはいけない。残りの4枚は検討作業に用いるなど，自由に使用してよい。

<手順2・描画>

<手順1・検討>で紙片1枚からつくった造形物を100倍に拡大して地面に置いたと想定し，そこにできる空間をデッサンボードに描け。描画にあたっては必ず人型のモデルを添え，検討した造形物がつくる空間の構成がわかる視点から描くこと。

<手順3・プレゼンテーション>

<手順2・描画>で描いた空間構成にタイトルをつけ，デッサンボード内に記せ。